

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3133551号  
(U3133551)

(45) 発行日 平成19年7月19日(2007.7.19)

(24) 登録日 平成19年6月27日(2007.6.27)

(51) Int. Cl. F I  
**A 4 7 K 10/02 (2006.01)** A 4 7 K 10/02 Z  
**A 6 3 B 57/00 (2006.01)** A 6 3 B 57/00 H

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 6 頁)

(21) 出願番号 実願2006-10933 (U2006-10933)  
 (22) 出願日 平成18年12月29日(2006.12.29)

(73) 実用新案権者 506250239  
 渡邊 広子  
 埼玉県戸田市笹目5丁目27番地1  
 (72) 考案者 渡邊 広子  
 埼玉県戸田市笹目5丁目27番地1

(54) 【考案の名称】 タオル付き用品収納ケース

(57) 【要約】

【課題】 ゴルフプレイに必要な小物用品と防水撥水性生地の付いた高吸水性生地と、から拭き用繊維クロスを各自が必要に応じて、その場で、簡単に使用が出来、同組でゴルフプレイをするメンバーへ、拭き布を回す必要がなくなり、各自のポケット等に常に持ち歩ける事を考慮し、コンパクトセットとした手軽な タオル付き用品収納ケースを提供する。

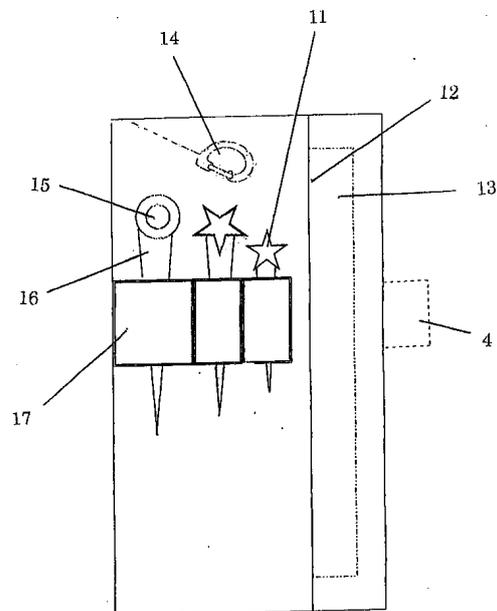
【解決手段】 本体の一端に開口部が設けられ、高吸水性生地の周囲に防水撥水性生地が付く拭き布を有し

他端に、から拭き用繊維クロスを入れるポケットとから拭き用繊維クロスが付く。

前記ポケットの側面には、グリーンフォーク、ボールマーカー、ボールティ等が、固着出来るよう構成される。

本考案によれば、ゴルフプレイの進行を、手軽に助ける事が可能となる。

【選択図】 図5



## 【実用新案登録請求の範囲】

## 【請求項 1】

一端に開口部が設けられ、この開閉が容易に出来るよう、入り口部分をずらす構造とする。  
また、開口部の密着、開口のもち手、本体の乾燥時に結合手段となる 3 役をなす 1 端が付く。

高吸水性生地周囲に防水撥水性生地が付く布を固着する手段と、他端に、から拭き用繊維クロスを入れるポケットが付く。

前記ポケットの側面には、グリーンフォーク、ボールマカ、ボールティ等が、固着出来る。

10

から構成され、

この構造は、ゴルフプレイに必要な用品をひとつにまとめた事を特徴とする、タオル付き用品収納ケース。

## 【考案の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【0001】

本考案は、ゴルフプレイに必要な個々の用品をひとつにまとめた事を特徴とする、タオル付き用品収納ケースの構造に関するものである。

## 【背景技術】

## 【0002】

ゴルフプレイをする場合、ゴルフボール、ボールティ、グリーンホークボールマカ等をむぞうさ、ばらばらにポケット収納していた。

キホルダやポチに、これら（ゴルフボール、ボールティ、グリーンホーク、ボールマカ等）個々の用品をそれぞれに、ぶらさげて、ゴルフプレイをしていた。

ウェッジ、ボール等を拭く、ゴルフ場で用意されたタオルをグリーン上にて一緒にプレイをするメンバー同士で回し、使用していた。

20

## 【考案の開示】

## 【考案が解決しようとする課題】

## 【0003】

ゴルフプレイにおいては、ティショットで、いろいろな小物の混じったポケットからティをごそごそ探すシーンをよく見かける。

グリーンフォークを持つのを忘れがちで、ボール傷を直せない。

ゴルフプレイ中、ゴルフカート等に忘れたタオルを仲間の内の、1人が取りに行くシーンがよくある。

各ゴルフ場で用意されたタオルをセルフプレイでは、同組メンバー同士で回しながら使用する事が多い。

冬の寒い時などは、冷たくなったタオルを持ち歩くと手が荒れる。無雑作に置かれたタオルは、景観も悪く、グリーン上に忘れがちとなる。

これらにより、スムーズなゴルフプレイがしにくい。

また、キホルダで使用する場合は、歩く、走る、素振りをする、ボールを打つ等の場面では、キホルダケースが足や、腰等に、ブラブラ当たり、気が散る事がよくある、これらの問題を解消する必要があった。

40

従って、これらのゴルフ用品を一体化する事により、前述の欠点を解決しようとするものである。

## 【課題を解決するための手段】

## 【0004】

本考案は、ゴルフプレイに必要な個々の用品を 1 つにまとめ、一端に開口部が設けられ、高吸水性生地周囲に防水撥水性生地が付いた布を固着する手段と、他端に、から拭き用繊維クロスを入れるポケットが付く、前記ポケットの側面にグリーンフォーク、ボールマカ、ボールティ等が、固着出来る手段が付く。

50

この構造は、各自のポケット等に常に持ち歩けるようコンパクトにセットしたもので手軽に取り出せ、使いやすいようゴルフ用品をポケット式収納とした物。

これにより、前述の欠点を解決しようとするものである。

#### 【考案の効果】

##### 【0005】

上述記載した様に、本考案は、ゴルフセルフプレイに必要な個々の用品を1つにまとめたゴルフ用品をポケット式収納とするものである。ゴルフセルフプレイにおいては、ティショットにおいて、いろいろな小物の混じったポケットから、ボールティをごそごそ探すシ－ンがよく見かけられるが、この動作が減少する。

汚れ濡れなどのウエッジ、ボール等を拭く為に、ゴルフ場で用意されたタオルと一緒に回るメンバ－同士で回しながら使用するが、本考案によりグリーン上、一緒に回るメンバ－にタオルを回す時間が短縮出来る。

使用したタオルが、グリーン上に無雑作に投げ置かれる事がなくなり、見た目にも、スマートな行動になる。

また、このタオル付き用品収納ケ－スには、タオル部分が、2ヶ所付く為、濡れでもドライでも、その場の適用が出来る。

タオル付き用品収納によれば、グリーンフォークを使い、ボール傷をその場で、すぐに直せ、ボールのマ－カ－が出来、ボールを拭くという動作がとてもスムーズに出来る。その後、各自のポケットへ戻すという動作だけとなる。

ゴルフカート等に忘れたタオルを取りに行くシ－ンも減り、ゴルフプレイの進行にもプラスとなる。

また、キ－ホルダ－で使用の場合では、歩く、走る、素振りをする、ボールを打つ等の場面で、足や、腰等に、ブラブラ当たり、気が散る事があった。これらの解消にもなる。

#### 【考案を実施するための最良の形態】

##### 【0006】

タオル付き用品収納ケ－スは、一端に開口部が設けられ、高吸水性生地の周囲に防水撥水性生地が付いた布を固着する手段が付き、このタオルは、簡単に着脱出来る。天気の良い日には、汚れたウエッジ、ボール等を拭く為に、タオルを濡らし絞った状態で、固着させ、雨の日には、乾いたタオルの状態、固着させる。

その日の天候で対応出来、固着したままの使用は、濡れたタオルをじかに持つ必要がない。

汚れたタオルは常に洗える。

この一端を開閉口させる手段には、マグネット・マジックテ－プ・ホック・ソフトプラスチック板・ファスナ－等を使用する。

また、内部タオルを囲む開閉手段のマグネット図1の番号3、ソフトプラスチック板図1の番号2には、厚みがあるので、中のタオルは、すっぽりと収納出来る。

開閉しやすいように、開閉口をずらし、つかみ部分を設け、開閉しやすい構造となっている。そのつかみ部分には、マジックテ－プが付き、使用后、本体を乾かす時には、開いた状態で掛けられ結合手段となる。開閉口を密着させる。つかみ手となる。の3役をなす。タオル部分は外れる為、内部もタオルも簡単に乾かす事が出来る。

他端には、ゴム輪付き、繊維クロスを入れるポケットが付く。このクロスにより、ウエッジ、ボール等を艶やかにし、ボールの転がりは、さらに良くなる。

このポケットの内側には、クロスを落とさない為のゴム付きフックが付く。

前記一端の開口部、側面には、グリーンフォーク、ボールマ－カ－、ボールティ等を、固着出来る手段が付く。この幅広ゴムの効果により、グリーンフォーク、ボールマ－カ－、ボールティ等は、ゴルフ用品収納から落ちづらく、使用する時には、すぐに取り出せる。

このタオル付き用品収納は、本体が、防水撥水加工された生地で作られる為、ポケット内を濡らす事はない。

ゴルフプレイに必要とする用品をひとつにまとめた事を特徴とするタオル付き用品収納

10

20

30

40

50

ケ - スである。

【実施例】

【0007】

以下、添付図面に従って一施例を説明する。

図1は、本考案の本体、通常は、開閉口をずらし、閉じて使用するが、その一端を開口した状態で上方から見た図である。番号2は、厚みのあるソフトプラスチック板で、開口部をずらす為、左右の横幅が違う。番号3は、厚みのあるマグネットで、閉口した時、中に取り付けるタオルをすっぽり包みピタッと閉じる構造になる。

番号4は、開閉しやすくする為のもち手部分になり、その構造は、2つ折で、内側に番号5のマジックテープが付いている為、開閉口が、さらに密着される。また、この部分を利用し、本体を乾かす時にも、キャディバッグ等の金具やハンガ等にぶらさげる事が出来、3役と活躍する。

10

番号6は、タオルを固着する為のホックである。

【0008】

図2・図3は、本体、内部タオルである。高吸水性生地周囲に防水撥水性生地が付いており、タオルの水気が直接、開閉口部に当たらないようになっている。この部分に本体と固着するホックが付く。

【0009】

図4は、本体を閉じた状態の片側で、開閉しやすいよう番号10のように、開口部をずらし、番号4のもち手を付けている。

20

【00010】

図5は、本体を閉じた状態の図4の反対面で、番号12は、ポケットの入口となり、中に、から拭き用繊維クロス番号13が収納される。

また、ポケットの内部に、から拭き用繊維クロス等を落とさぬよう、ゴム付きキホルダ番号14が付けれられている。その為、から拭き用繊維クロスにも、ひっかけられる部分となる小さなゴムの輪が付く。これらを固着させた状態で、ポケットに収納する。

ポケットの表面には、横幅の広いゴム番号17が付き、分けられている為、グリーンフォック番号16、ポルマカ番号15、ポルティ番号11等が、固着出来る。

【産業上の利用可能性】

【00011】

30

本考案は、ゴルフプレイに必要な個々の用品が1つになっており、ゴルフプレイ時に便利に使用する事が出来る。

【図面の簡単な説明】

【00012】

【図1】 本考案の開口部が設けられた部分を開口した状態の図

【図2】 図2は、番号9高吸水性生地のタオル部分に、番号8防水撥水性生地が外周に付いている図

【図3】 タオルの周囲に防水撥水性生地が付いた布を本体と固着する手段、番号6のホックが付いた図

【図4】 本体を閉じた状態の表側図

40

【図5】 本体を閉じた状態の裏側図

【符号の説明】

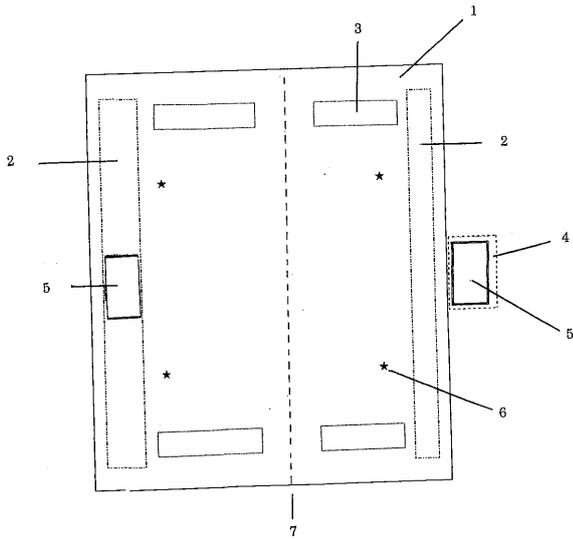
【00013】

- 1 本体
- 2 ソフトプラスチック板
- 3 マグネット
- 4 もち手用テープ
- 5 マジックテープ
- 6 ホック
- 7 2つ折、縫い目

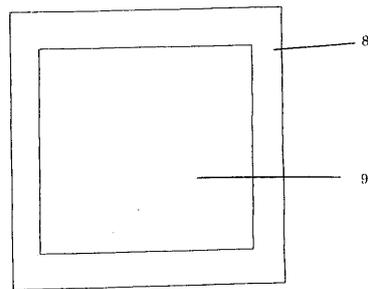
50

- 8 防水撥水性生地
- 9 高吸水性生地
- 10 開口部のずらし幅
- 11 ボールティ
- 12 ポケット入口
- 13 ゴム輪付き、から拭き用繊維クロス
- 14 ゴム付きキホルダー
- 15 ボールマカ
- 16 グリーンフォーク
- 17 幅広ゴム

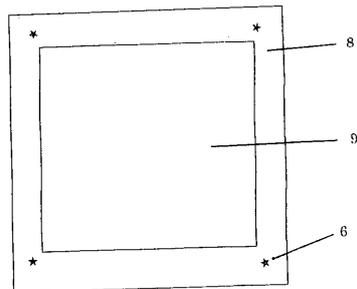
【図1】



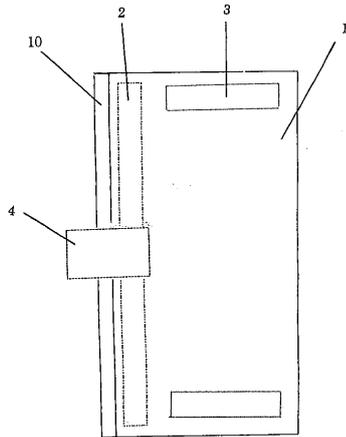
【図2】



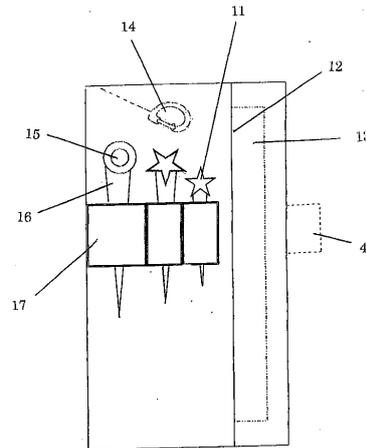
【図3】



【図 4】



【図 5】



## 【手続補正書】

【提出日】平成19年4月13日(2007.4.13)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

## 【請求項1】

防水撥水加工した生地から成り、二つ折り自在とし、タオル、から拭き用繊維クロス、ゴルフ用小物をひとつに収納するタオル付き用品収納ケースにおいて

(1) 両側端部に二つ折り開閉する手段を設け、内側面にはタオルを装着出来るこのタオルは、洗濯しやすいよう着脱式とする

(2) (1)の二つ折り開閉する際、外側面の一方の側端縁と他方の側端縁とを容易に開閉出来るよう、両側端縁をずらす

(3) (1)の二つ折り開閉する際のもち手には、マジックテープ(登録商標)が付いており 1 開閉する際のもち手 2 両側端縁の密着 3 本体乾燥時キャディ - バッグ等の金具、ハンガ - 等の結合手段となり、3役をする

(4) 二つ折り閉鎖した外側面の一方には、から拭き用繊維クロスを収納する為のポケットがある

(5) 二つ折り閉鎖した外側面の一方には、ゴルフ用小物を個々に取り付ける為幅広ゴムを区分けした手段の带状部材がある

以上の構成からなるタオル付き用品収納ケース。